

デジタルコレクションをめぐる最近のトピックス【情報提供】 ーより便利に。取材ツールとしてぜひご活用くださいー

「国立国会図書館デジタルコレクション」

(以下、「デジタルコレクション」。

<https://dl.ndl.go.jp/ja/>) は、国

立国会図書館が収集、保存しているデジタル資料を検索、閲覧できるサービスです。すでに、多くの



方にご利用いただいておりますが、昨年末のリニューアルや各種のサービス拡充により、ますます便利になりました。取材ツールの1つとして、調査報道等にもぜひご活用ください。



最近のトピックスをいくつかご紹介いたします。

①全文検索対象の資料が大幅に増えました

令和4(2022)年12月に実施したリニューアルでは、資料本文を対象に検索すること(全文検索)ができるデジタル化資料(国立国会図書館等が所蔵する資料をデジタル撮影したもの)が5万点から247万点に増えました。全文検索では、タイトルや著者などの書誌情報だけでなく、資料本文に登場する言葉をキーワードで検索することができますので、知りたい情報のヒントを得やすくなりました。

例えば、京都府の無形民俗文化財である「いごもり祭」で有名な、精華町の「祝園神社」をキーワードに検索すると、書誌情報を対象にした検索では3件ヒットしていたのが、全文検索を加えると352件ヒットするなど、より多くの資料を見つけることができます。

また、今回のリニューアルでは、ご自身でお持ちの任意の画像などに類似する図版を、デジタルコレクションの収録資料から検索できる「画像検索機能」も追加されました。

②有償等オンライン資料の収集、提供を開始いたしました

国立国会図書館は令和5(2023)年1月から、民間発行のオンライン資料(電子書籍や電子雑誌等)の全面的な収集を開始いたしました。従来収集してきた、無償かつDRM(技

術的制限手段) が付されていないオンライン資料に加え、同年 1 月以降にインターネット等で出版 (公開) された、有償又は DRM が付されたオンライン資料も収集することになりました。

収集したオンライン資料は、国立国会図書館の施設 (関西館のほか東京本館、国際子ども図書館) 内に設置した端末で、デジタルコレクションを通じて検索、閲覧することができます。

③個人向けデジタル化資料送信サービス開始から 1 年が経ちました

当館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手が困難なものを、利用者自身の端末等で閲覧できる「個人向けデジタル化資料送信サービス」(以下、「個人送信」) が、令和 4 (2022) 年 5 月に開始しました。コロナ禍により、図書館等に来館することなく利用できるデジタル化資料への、研究者や学生等からのニーズが高まったことを背景に著作権法が改正され、個人の方への送信が可能となりました。

日本国内に居住する国立国会図書館の登録利用者で、利用規約に同意いただければお使いいただけます。個人送信開始により、自身の端末等で利用できるデジタル化資料が 150 万点以上増えました。令和 5 (2023) 年 1 月には、個人送信対象資料を印刷できる機能が加わったほか、送信の対象資料も順次増え続けています。

<参考：国立国会図書館所蔵資料のデジタル化の状況 (令和 5 年 5 月時点) >

資料種別	インターネット公開 (著作権保護期間満了等)	個人送信 (絶版等資料)	国立国会図書館 館内限定 (その他)	合計
図書	3 6 万点	8 5 万点	3 8 万点	1 5 9 万点
雑誌	2 万点	8 2 万点	5 2 万点	1 3 6 万点
博士論文	1 万点	1 4 万点	2 万点	1 7 万点
その他	1 9 万点	4 万点	1 0 万点	3 2 万点
(合計)	5 8 万点	1 8 4 万点	1 0 2 万点	3 4 5 万点

(端数処理のため合計が一致しない場合がある)

【取材に関するお問い合わせ】

国立国会図書館関西館 総務課総務係

(電話：0774-98-1225 (直通)、メールアドレス：k-somu@ndl.go.jp)